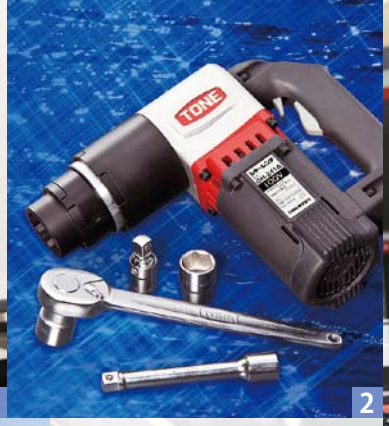
河内長野市役所：〒586-8501 大阪府河内長野市原町一丁目1番1号
☎0721-53-1111(代) FM56-1761 ☎54-1000(留守番電話)
発行：河内長野市 編集：総合政策部広報広聴課
毎月1日発行 4万8700部作成(1部当たり22円)
お知らせ電話で休日急病診療所の日程などを
24時間案内中 0120-930-073
河内長野市 ホームページ



1電動工具の組み立て作業をする従業員 2グッドデザイン賞を受賞したシャーレンチやソケットレンチなど 3「今後はブランド力を強化し、高級工具のTONEブランドを確立したい」と語る平尾工場長 4ショールームには様々な製品を展示 5 2年前からモータースポーツの分野にもスポンサーとして参加

造 作 創

かわちながのものづくり探訪

Made in Kawachinagano

21

あらゆるボルト締結の場面でプロを支える企業

TONE株式会社

寿町に工場があるTONE（トネ）株式会社はボルトを締めるソケットやレンチなどの手動工具やシャーレンチなどの電動工具を製造しています。

同社は大阪市福島区に開業した前田軍治商店を前身とし、来年創業80周年を迎える歴史ある会社。本社は大阪市で全国各地の営業所と、府内2か所とベトナムに工場を構えます。河内長野工場では製造部門のほか、企画部門や開発部門もあり「全従業員150名の内、約70名が本工場に勤務しています」と同社取締役でもある平尾昌彦（ひらおまさひこ）工場長は語ります。

国産ソケットを日本で最初に作った同社は、手動工具をはじめ、電動工具、ツールケースなど現在約4800種類の製品を製造し、建設現場や整備工場などボルト締結のあらゆる場面でプロの作業を支えています。

「ボルト締結には適正な締め具合があり、締めすぎは強度を落とし、時に破損する恐れもあります」と平尾工場長。締めすぎを防止し、適正なボルト締結を可能にするのがトルクレンチやシャーレンチという電動工具で、同社は国内シェア90％を誇ります。一方、他社がさじを投げる難しいケースに挑むのもTONEという会社の特長。一例をあげると東京スカイツリーの完成前、先端にある電波塔のボルト締結で、狭くて通常の電動レンチが入らないという問題が発覚。試行錯誤の末、現場に合わせて電動レンチを短納期で設計・製作することで難題を乗り切ったとか。このようにボルト締結ではどんなことでも対応するという企業風土が浸透しています。

今後は黒、赤、シルバーを基調にした製品デザインを全面に押し出し、ブランド力の向上を図りたいとのこと。その一環として、スーパーGTやD1グランプリなどモータースポーツの支援活動も始めています。また、現在のベトナム工場に加え、さらなる世界進出も視野に、高級工具・機器のブランドメーカーとなることを目指してビジネスフィールドを広げていきます。

TONE株式会社 河内長野工場
黒とシルバーを基調に赤のラインのすっきりとした建物の河内長野工場は平成24年に本市に開設、その翌年に前田金属工業から現在の名称「TONE」に変更された。
寿町6-25 ☎56-8721
http://www.tonetool.co.jp

▲高級感のあるツールセットはカーボン調トレーで整理がしやすく、紛失防止にも役立つ。

UD FONT